

第142号
令和6年7月10日
編集発行
岐阜県立各務原高等学校
PTA



入学式宣誓

校外研修

五月九日に校外研修が行われ、一年生は高山・白川郷散策（令和五年度ふるさと魅力体験事業の一環）、二年生は名古屋港水族館・トヨタ産業技術記念館、三年生は京都市内散策を行いました。

当日は天候にも恵まれ、クラスでの新年度初めての大きな行事として、仲間たちと親睦を深め、また、いつもとは違う街並みや歴史に触れるなど、有意義な時間を過ごしました。

2年生 名古屋港水族館・トヨタ産業技術記念館



令和五年度 定期人事異動

退職者

校長 細井 恒樹
教頭 金森 香織

轉出者

英語山崎喬昭 大成高校	理英 術宮野佳友 羽島特別支援学校	理美 科石垣智 羽島北高校	理数 科原口幸雄 岐阜希望が丘特別支援学校	数数 学加藤千央 長良特別支援学校	数数 学若山敦裕 各務原市立稻羽中学校	数数 学松波雅慶 岐南工業高校	数数 学林充宏 羽島北高校	地歴公民 川合大輔 可児高校	国語 語林つかさ 岐阜城北高校	国語 語今津剛 岐阜北高校
----------------	-------------------------	---------------------	-----------------------------	-------------------------	---------------------------	-----------------------	---------------------	----------------------	-----------------------	---------------------

転入者

美	保健体育	理	数	数	国	教頭	校長
術	体育	科	学	学	語	(数)	(数)
田	山村	森屋	学大野	白木	後藤	杉山	野々山伸一
口	亮平	晃	香	駿介	秀謙	岐阜高校	吉城高校
祐衣	羽島高校	中津川工業高校	関有知高校	山県高校	校長		
羽島高校							

育休復歸

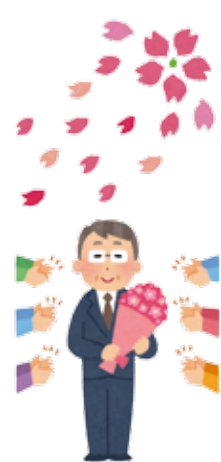
数
学
牧
田
知
子

會計年度任用職員

退職	保健體育	南部	好輝
軋出	適応指導員	岩田	翔一
S	C	川本	葉子
新規	地歴公民	松田	沙耶
理	科	早瀬	郁夫
英	語	鈴木	恵
英	語	伊藤	智博
S	C	中村	菜穂子
			八百津高校他
			愛知啓成高校
			武義高校
			本校
			郡上高校他
			未定

事務部

係 転	係 転
入 長 島田 昭彦	出 長 伊藤 知子
岐阜各務野高校	



一年間よろしく

お願い致します

PTA会長 伊藤 宣彦

令和六年度PTA会長を務めさせていただく伊藤宣彦（のりひこ）と申します。一年間頑張ってまいります。よろしくお願いいたします。

平素より各務原高等学校のPTA活動にご理解ご協力をいただき誠にありがとうございます。

生徒の皆様も、入学、進級され二ヶ月が過ぎ、新しい学校生活に慣れてきた頃ではないかと思えます。今後ともいろいろな行事がありますので、皆さんで協力し、親睦を深めていってください。また、部活動もまだまだ大切な大会があると思います。今しかできないことです。悔いの残らないように頑張ってください。

PTAの行事も、コロナが五類に移行し、元に戻ったものもあります。また、新しく改善されたものもあります。

先月末に岐阜県高等学校PTA連合会の定期総会がありました。こちらは会場には行かず、各学校とオンラインで結んでの開催でした。記念講演があり、半径5mから

始まる学び」という演題で講師の方が話をされました。その中で、高校生十人ほどに今の自分よりほんの少しでも目標を決めてもらい、その結果を定期的に報告するという活動が紹介されました。例えば遅刻しないために一つ早い電車に乗ることを目標にした高校生は、少しの早起きが習慣となり、朝の時間を有効に活用できるようになったそうです。この話を聞いて、初めから高すぎる目標を立てるのはなく、少しずつハードルを上げてやっていくのもいいのかなと思いました。

話は戻りますが、本校PTAの新しい改善の一つに文化祭での新しいイベントを企画しました。数年前まではPTA役員の皆さんでカレイライスを販売していたのですが、コロナ禍でできなくなり、昨年度までは冷やしたペットボトル飲料を配付していただきました。今年度はそれに加えてキッチンカーを呼ぶことにしました。文化祭を盛り上げる一助になれば幸いです。

時代の変化により、PTA活動にも変化と課題が出てきました。今後とも皆様には何卒ご理解、お力添えを賜りますようお願い申し上げます。

校長 野々山 伸一

本年度四月に赴任いたしました校長の野々山伸一です。どうぞよろしく願います。

前出の『学校案内』には「社会へ出る直前のこの三年間で、自分の価値を高めよう!」とも書かせていたきました。また、始業式の校長の話で二年生と三年生には、生涯収入を例えに次のような話をいたしました。(概略)生涯収入の平均は、一人当たり二億円を超えている。もっと稼げるのであれば、誰もが二億円と言わず、三億円、いや、それ以上と考えるでしょう。もちろんお金が全てではないことは当然ですが、少しでも多く稼ぐために、今自分にとって何が必要か、今自分が何をすべきかを考えてみてほしい。一番大事なことは、他の人と自分を比べるのではなく、

生徒指導主事 橋本 純



旧役員へ感謝状贈呈

める」とし、議決は、多数決による。」に則り、総会は成立し、議案は承認されました。

会員の皆様、御協力ありがとうございました。

また、総会後には、若木真文様（東進ハイスクール）氏による進路講演会、その後は学年学級懇談会を開催し、六十七名の会員の方々に御参加いただきました。

令和六年度がスタートして二カ月が経ちました。生徒の皆さんは新クラスでのクラス開き、遠足、前期中間考査など学校行事を通して学びや気づきが得られていることと思います。

さて、生徒指導部の立場で昨年度から現在までの学校内の状況を振り返ると、次のことが挙げられます。

加えて、朝、私が正門に立っている時、あるいは日中、私と廊下ですれ違う時に全員の生徒から「おはようございます。」「さこんにかは」「さようなら」と、さわやかな声でいつもあいさつをもらいます。私も「はい、おはようございます。」「等と返しています。」「ございます。」「を付けるのは、私が生徒達を一人の尊厳のある大人と私は見ているからです。」

入学式においていたのだ。保護者の方々には、「お子さんの成長のために、保護者も我々教員も必ず同じ方向を向いています。共に手を携えていきましょー。」とお願いをしました。

(二) 交通事故が多発

今年度、五月末までの交通事故件数は七件です。そのすべての事故は登校時に発生しています。事故状況を検証すると、「自動車は来ないだろう」「や」「自動車は止まってくれるだろう」など判断を誤ったケースが多いです。そうした判断に余裕がなかったというのがほとんどでした。確かには何かとバタバタしてしまいがちです。それは生徒の皆さんだけではありません。ドライバーの方もひょっとしたら急いでいるかもしれません。お互いに気持ちに余裕がない状態で交差点で交錯したら、何が起るでしょうか。事故が起る可能性は非常に高いでしょう。四月に全校で交通安全講話を受講しました。今年度のテーマは危険予知でした。どのような危険が潜んでいるかを考えることは非常に大切なスキルです。時間や気持ちに余裕をもち、危険予知をすることで大切な生命を守ることが出来ます。ヘルメットの着用も含めて大切な生命を守るため出来ることをご家庭で話題にしてください。

(二)遅刻者数がのべ二千人超
昨年度、本校の遅刻者数は二千名を超えました。一日あたり十一名でした。この人数は近隣の学校と比較しても非常に多い状況でした。今年度、改善を図るため生徒指導部では

コロナが五類に移行して
何が出来るか

教務主任 美濃輪 智彦

昨年の五月八日にコロナが五類に移行し一年が経ちました。一年前は「密を避ける」場面が減り、一部で行っていた活動も全校でできるようになったものの、マスクの付いている人も多く、脱コロナの状態ではありませんでした。最近はその制限もなくなり、以前のような日常が戻ってきています。本校においても、集会を全校で実施したり学校行事に制限がなくなってきたりするなど、諸活動も以前の様子が戻ってきています。

活動の制限があった三年間、制限されたが故にその中でできることなど、新たに生み出されたものもありました。この三年間の中で学んだことを今後、どのように生かしていくのが大切です。また、多くのことが学べたことで予測不可能な現代を生きていくために必要な力をつけ、本校卒業後でも多くのことを柔軟に対応できるのが大切になってきます。時にはうまくいかないこともあります、が、努力してうまくいかなったことは失敗ではありません。一見するとう

遅刻予防と遅刻指導を徹底的に行っています。遅刻予防として、毎朝職員が正門で登校指導を行っています。遅刻指導は五回ごとに指導をして生徒に自省を促しています。そうした取り組み成果、八時四十五分頃に遅刻する生徒は減少しました。安易な遅刻は全体的に減少しています。しかしながら、心身の不調から遅刻する生徒が一定数いるため毎月の遅刻者数の大幅な減少には至っていません。正しい生活習慣を送ることでより遅刻者数を減らすことができるはずです。ご家庭でも生活習慣や登校時間について改善の余地はないか検討してください。

以上の点を踏まえて今年度の生徒指導部としての重点項目とし、改善を図っていききたいと思います。

- ① 交通事故や遅刻防止など
予防的に注意喚起や指導を行う
- ② 誰もが安心して生活できる
環境づくりを支援する
- ③ 遅刻者数を昨年度より
半減させる
- ④ 保護者や関係諸機関との
連携を図る

本校に限らず学校は多様な価値観をもつ生徒が集う場所です。ときに笑い合い、ときに腹を立て、ときに悲しむこともあるでしょう。そうした経験を積むことで一人の大人として成長していきます。その成長の過程は決して平坦ではありません。あきらめたり、逃げ出したくなるときがあると思います。そのようなときに力になるのが友人やクラスでの絆

PTA総会
進路講演会
学年学級懇談会

PTA総会
進路講演会
学年学級懇談会

四月二十六日午後、今年度のPTA総会が開催されました。

二十三名の方々が参加された総会の模様を配信し、書面審議をいたたく方式で行いました。

回答数 四百四十二 (72.1%)

- ・承認する 四百四十一 (99.8%)
- ・承認しない 一 (0.2%)

となりました。

PTA規約第十五条一定足数は
会員の三分の一以上（委任状を認

PTAあいさつ運動

です。一人では微力であっても、何人も力を合わせれば大きな力になります。ぜひ、高校生活の中で多くの人とかがわり、多くの気づきを得てほしいです。その気づきがやがて社会に旅立つ生徒の皆さんにとってかけがえのない自己の礎になるはずですよ。皆さんの変容（チェンジ）と挑戦（チャレンジ）を様々な場面から見守っていきます。また、楽しみにしています。

第一回PTAあいさつ運動が、四月十八日（金）、三年生担当のPTA本部役員と生徒会執行部で行われました。さわやかな気候の下、正門で登校する生徒たちとあいさつを交わしました。



PTA 校外研修 (大学見学)

六月六日(木)、PTA 校外研修として大学見学を行いました。二十六名の会員の方に参加していただき、午前中に愛知学院大学日進キャンパス、午後は名城大学や八事キャンパスを訪問しました。

愛知学院大学では、全体説明と、学生の方々の案内で施設見学、その後学食体験もさせて頂きました。午後の名城大学では、全体説明とキャンパスの施設見学をしました。どちらの大学もとても分かりやすく説明していただき、参加された方々からも大変好評な研修となりました。



名城大学学生による施設説明

二〇二四年度 入試報告・方針と重点

進路指導主事 水野里美

◎二〇二四年度入試について
二〇二四年度の大学入学共通テストは、前年と比べて出題傾向が大幅に変わることもなく、五教科平均点の大きなアップダウンも見られませんでした。科目別では、国語、地理B、生物基礎、生物の平均点の上昇が目立ちました。また、リスニングで解きやすい問題が多く出題されたため、平均点が上昇しました。数学I・Aや数学II・B、政治経済などでは平均点が下降しました。志願者数は四十九万七千六百八人で、既卒生の減少が目立っています。

学部系統別の志望動向では、国際関係学の人気が回復するなど、新型コロナウイルス感染症が五類に移行した影響が見られました。また、コロナ禍で人気の高まっていた薬学は、志願者数が減少しました。昨年同様、理系人気は落ち着いたものの、国公立大学・私立大学ともに文系学部の人気が回復しています。二〇二五年度新課程入試の始まりを前にして、浪人を避けるため安全志向が働くのではと予想されていますが、難関大学では大きな変化は見られません。

本校では、九割の生徒が地元中学校に進学し、八割以上の生徒が学校推薦型選抜や総合型選抜を利用した進学しました。志望理由書や面接等の準備を進める中で、自分を見つめ表現する力を磨き上げることができ、合格をつかみ取ることにできました。学校推薦型選抜や総合型選抜で合格した生徒の多くは年内に進路先が決まりますが、進学後、一般入試で入学した生徒との間の学力差が不安視される一面もあります。学力差から不適応感を感じることもないよう、進路先決定後も学習し続ける姿勢を大切にしていきたいと思います。

昨年度は四十名程度の生徒が三月まで粘り強く受験勉強に取り組み、進路希望の実現に向けて邁進しました。目標を高く掲げ、最後まで仲間と共に粘り強く取り組む姿勢は頼もしく、教職員一丸となり個別指導などを通して支え続けました。早期中退や離職を避けるためにも、事前に進路をよく調べ相談すること、また易きに流れるのではなく、自分を律して努力し続け、第一志望を最後まで目指すことを大切にしました。指導を続けたいと考えています。さらに、全学年での放課後補習や、LHR・総合的な探求の時間等での進路学習により、進路意識の高揚、学力の向上を目指し指導を充実させて参ります。



国際交流 アメリカセリトス市から ホイトニー高校生が来校

六月十七日、十八日に各務原市の姉妹都市であるセリトス市から、十一名のホイトニー高校生が来校しました。

歓迎会の後、授業にも参加し、英語の授業に加えて十七日は書道体験とうちわ、置き傘作り、十八日は日本食調理体験と部活動体験も行いました。

休み時間などにも積極的に交流する姿が見受けられました。



歓迎会



英語の授業に参加



書道体験



日本食調理体験



うちわ作り



校門で記念写真

令和5年度卒業生 進路別人数

			人数
進 学	四 大	国公立	3
		私 立	153
	短 大	公 立	3
		私 立	14
	専門学校	看護系	8
		その他	31
	各種学校		4
就 職	公 務 員		1
	そ の 他		3
	留 学		0
その他		6	
合 計		226	

◎進路指導部の方針と重点
進路指導部は、主体的に進路を選択できる能力や態度を育て、進路実現のための積極的取り組みを支援することを基本方針とし、以下の三点を重点としています。

①生徒の発達段階に応じたキャリア教育を推進し、高校卒業後を見通した三年間の全体計画、年間指導計画を作成し、計画的、組織的な進路指導体制を確立する。

②一人ひとりが自己の能力や適性を理解し、主体的に進路選択できるように、多様な進路に応じた情報提供や説明を行う。またそれらに基づいた学習等のガイダンス機能を実践させる。

③生徒が自ら希望する進路を実現できるよう、「生きる力」の礎となる確かな学力を身に付けるための指導を充実させる。



ラグビー部



バドミントン部



華道 嵯峨御流



茶華 裏千家



硬式野球部

令和6年2～6月までの部活動成績

部活動	成績内容
サッカー部	岐阜県高等学校新人大会 県ベスト4
ラグビー部	第11回東海高等学校ラグビーフットボール10人制交流大会Bブロック3位 第20回全国高等学校合同チームラグビーフットボール大会東海ブロックU18代表選手として選出(中嶋大晴)
バスケットボール部(男子)	第72回岐阜県高等学校総合体育大会 県大会出場
バスケットボール部(女子)	第72回岐阜県高等学校総合体育大会 県ベスト16
バレーボール部(女子)	第72回岐阜県高等学校総合体育大会 県大会出場
テニス部(男子)	第72回岐阜県高等学校総合体育大会 県大会出場
テニス部(女子)	第72回岐阜県高等学校総合体育大会 団体県ベスト16
弓道部	第72回岐阜県高等学校総合体育大会弓道競技岐阜県予選大会個人決勝出場(中西琥太郎)
水泳部	6月29、30日に大会
芸術部	(美術) 岐阜県青少年美術展 デザインの部 入選 (川添怜虎) (書道) 岐阜県青少年美術展 青年部 入選 (小林望 長尾夏歩)
吹奏楽部	第50回東海アンサンブルコンテストに岐阜県代表として出場 銅賞を受賞 第36回中部日本重奏コンテスト 岐阜県代表として本大会に出場 銀賞を受賞 サキソフォン四重奏(小原遥・山下結衣・吉田璃緒奈・亀山優心) 令和6年6月16日 能登半島復興支援吹奏楽コンサート in せき 出演 令和6年6月23日 第33回定期演奏会を犬山市民文化会館で開催
バドミントン部	第72回岐阜県高等学校総合体育大会バドミントン競技 岐阜地区予選会 男子団体 第3位 第72回岐阜県高校総体兼全国・東海高校総体バドミントン競技 岐阜県予選会 男子団体 ベスト8

本校の部活動は、サッカー部・ラグビー部・硬式野球部・吹奏楽部の四つのEC(エキスパート)型。専門的な分野の研鑽や技術の習得を図り、競技力向上を目指す。と、陸上部・バスケットボール男子部・バスケットボール女子部・バレーボール女子部・テニス男子部・テニス女子部・卓球部・弓道部・水泳部・バドミントン部・芸術部・茶華道部の十二のQC(クオリティー型)：仲間との交流や試合・発表を通じて、非日常の生活の自己肯定感の醸成を、二種類のタイプの計十六の部活動がそれぞれ目標に向かって活動しています。

二月から六月までの大会結果や発表会などは上記の通りです。

吹奏楽部サキソフォン四重奏チーム
東海アンサンブルコンテスト・中部日本重奏コンテスト・本大会出場！

本校サキソフォン四重奏チームは、一月に行われた地区大会、県大会を勝ち上がり、参加二百五十チームの中上位五チームに入って、岐阜県代表として東海アンサンブルコンテスト・中部日本重奏コンテスト本大会に出場しました。二月十一日に愛知県幸田町で開催された東海大会では銅賞、三月二十四日に長野市で行われた本大会では銀賞を受賞しました。演奏した曲は、尾崎一成作曲三つの妖怪を表現した「妖怪のミニチュアール」。

メンバー四名の感想です。

吹奏楽部サキソフォン
四重奏チーム
東海アンサンブルコンテスト・中部日本重奏コンテスト・本大会出場！



アルトサキソフォン 山下結衣

サキソフォン 小原遥
地区大会で金賞が取れるのか心配していた私たちが、東海大会、中部日本大会に出られたことは今でも信じられません。

四人でたくさん笑って、たくさん泣いた約一年はこの先ずっと忘れられない思い出になると思います。

サキソフォン 吉田璃緒奈
みんなで意見を出し合って練習した事でチームの仲も深まってみんな一つの目標に向かって頑張りました。

なのでより達成感があったし、東海大会、本大会が決まった時みんな喜び合った感動が大きかったです！

バリトンサキソフォン 亀山優心
どちらの大会もとてもレベルが高く、自分の課題が沢山見つかりました。また、その舞台に四人であがれたことが本当に嬉しく、今までで一番大切な思い出になりました。

応援していただき、本当にありがとうございました。



サッカー部



バスケット部



テニス部